

# 全学共通初年次教育科目「まなぶる☒ときわびとⅠ」 の取組について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 光成, 研一郎, 川崎, 弘也 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/998">https://kobe-tokiwa.repo.nii.ac.jp/records/998</a>

1-R-5

## 全学共通初年次教育科目「まなぶる➤ときわびと I」の取組について

光成研一郎<sup>1)</sup>川崎弘也<sup>2)</sup>

本学では、一部の共通科目を除き、これまでそれぞれの学科が指定規則に則ったカリキュラムを構築し、学科ごとの教育を行ってきた。しかしながら一昨年度より学科個別の教育目標、DP、CP、APに加えて、全学共通の教育目標、DP、CP、APを策定することが求められるようになった。それゆえ本学では、教学改革の一環として、専門職業人に必要な資質、能力を「ときわコンピテンシー」と命名し、「知識」・「思考力」・「創造力」・「市民性」の4つの力の育成を目的としたカリキュラムの構築を目指してきた。今回の学科長推薦演題では、全学共通開講初年次科目「まなぶる➤ときわびと I」の取組について発表する。

知識基盤社会、生涯学習社会で必要とされる資質や能力、いわゆる「ときわコンピテンシー」養成のためのアクティブ・ラーニングの定着に向けて、「まなぶる➤ときわびと I」が、シラバスなどの学習計画などの作成 (P)、学習指導の実施 (D)、学習指導の評価 (C)、評価を踏まえた学習指導の改善 (A) といった、「PDCA サイクルの構築」および「指導と評価の一体化」をどのように模索しているかについてもお話させていただく。

またこの授業の改善にあたっては、株式会社ラーニングバリューの川崎氏に学生による授業評価の結果の分析を含めて、助言いただいている。今回の発表では、組織開発の視点を取り入れた科目設計についても川崎氏からお話いただく予定である。

---

1) 教育学部こども教育学科 2) 株式会社ラーニングバリュー